1 次の関数値を角度として見た場合、どんな角度と言えるでしょうか。『~である ような角度』の形式で述べてください。

- (1) $\cos^{-1}x$ (-1 < x < 1) (2) $\tan^{-1}x$

配点:(1)5点、(2)5点 シラバス到達目標:ア

【解答例】 (1) コサインの値が x であって、 $[0,\pi]$ の範囲にある角度。

(2) $\left(-\frac{\pi}{2},\frac{\pi}{2}\right)$ の範囲にあって、タンジェントの値がx であるような角度。

 $2 \sin x$ の定義域を $\frac{\pi}{2} \le x \le \frac{3\pi}{2}$ に制限したものの逆関数を F(x) とするとき、F(x)の導関数を求めてください。

配点:5点 シラバス到達目標:ア

【解答例】 $y = \sin x \left(\frac{\pi}{2} \le x \le \frac{3\pi}{2}\right)$ とおくと、この逆関数が F(x) ですから、

$$x = \sin F(x) \qquad \left(\frac{\pi}{2} \le F(x) \le \frac{3\pi}{2}\right)$$

$$1 = \cos F(x) \cdot F'(x) \qquad \left(\frac{\pi}{2} < F(x) < \frac{3\pi}{2}\right)$$

$$F'(x) = \frac{1}{\cos F(x)}$$

$$= \frac{1}{-\sqrt{1 - \sin^2 F(x)}}$$

$$= -\frac{1}{\sqrt{1 - x^2}}$$

となります。

3 次の関数の導関数を求めてください。

(1)
$$f_1(x) = \operatorname{Tan}^{-1} \frac{1}{x+1} + \operatorname{Tan}^{-1} \frac{x}{x+2}$$

(2)
$$f_2(x) = \operatorname{Sin}^{-1} \frac{x}{\sqrt{1+x^2}}$$

(3)
$$f_3(x) = \cos^{-1}(2x+7)$$

配点:(1)5点、(2)5点、(3)10点 | シラバス到達目標:ア

【解答例】 (1)

$$f_1(x) = \operatorname{Tan}^{-1} \frac{1}{x+1} + \operatorname{Tan}^{-1} \frac{x}{x+2}$$

$$f_1'(x) = \frac{1}{1 + \frac{1}{(x+1)^2}} \left(-\frac{1}{(x+1)^2} \right) + \frac{1}{1 + \frac{x^2}{(x+2)^2}} \left(\frac{x+2-x}{(x+2)^2} \right)$$

$$= -\frac{1}{(x+1)^2 + 1} + \frac{2}{(x+2)^2 + x^2}$$

$$= -\frac{1}{x^2 + 2x + 2} + \frac{2}{2x^2 + 4x + 4}$$

(2)

$$f_2(x) = \sin^{-1} \frac{x}{\sqrt{1+x^2}}$$

$$f_2'(x) = \frac{1}{\sqrt{1-\frac{x^2}{1+x^2}}} \cdot \frac{\sqrt{1+x^2}-x \cdot \frac{2x}{2\sqrt{1+x^2}}}{1+x^2}$$

$$= \frac{1+x^2-x^2}{1+x^2}$$

$$= \frac{1}{1+x^2}$$

(3)

$$f_3(x) = \cos^{-1}(2x+7)$$

$$f_3'(x) = -\frac{1}{\sqrt{1 - (2x+7)^2}} \cdot 2$$

$$= -\frac{2}{\sqrt{-4x^2 - 28x - 48}}$$

$$= -\frac{1}{\sqrt{-x^2 - 7x - 12}}$$

4 x,y が次の関係式を満たすときに、 $rac{\mathrm{d}x}{\mathrm{d}y}$ を x,y を使って表してください。ただし、 微分不可能な点については気にしなくて結構です。

(1)
$$y = x^3 + 1$$

(2)
$$\log(x^2 - y) = x^2 + 7y + 1$$

配点:(1)10点、(2)10点 シラバス到達目標:ア

【解答例】 (1)

$$y = x^{3} + 1$$
$$1 = 3x^{2} \frac{dx}{dy}$$
$$\frac{dx}{dy} = \frac{1}{3x^{2}}$$

(2)

$$\log(x^{2} - y) = x^{2} + 7y + 1$$

$$\frac{2x\frac{dx}{dy} - 1}{x^{2} - y} = 2x\frac{dx}{dy} + 7$$

$$2x\frac{dx}{dy} - 1 = 2x(x^{2} - y)\frac{dx}{dy} + 7(x^{2} - y)$$

$$2x(y - x^{2} + 1)\frac{dx}{dy} = 7(x^{2} - y) + 1$$

$$\frac{dx}{dy} = \frac{7(x^{2} - y) + 1}{2x(y - x^{2} + 1)}$$

- 5 次の極限値が存在するかどうか調べ、存在する場合はその値を求めてください。
 - (1) $\lim_{x \to 0} \frac{\tan(x^2 + 2x)}{x}$
 - $(2) \lim_{x \to +0} x \log(\sin x)$

配点:(1)10点、(2)5点 シラバス到達目標:ア

【解答例】 (1) これは $\frac{0}{0}$ の不定形ですから、分子・分母それぞれの導関数の比を見ると

$$\frac{(分子)'}{(分母)'} = \frac{\frac{2x+2}{\cos^2(x^2+2x)}}{1} \to 2 \quad (x \to 0)$$

ですから、ド・ロピタルの規則により、

$$\lim_{x \to 0} \frac{\tan(x^2 + 2x)}{x} = 2$$

です。

(2) 変形すると

$$x\log(\sin x) = \frac{\log(\sin x)}{\frac{1}{x}}$$

であり、これは $\frac{\infty}{\infty}$ の不定形です。このとき

$$\frac{(\mathbf{分子})'}{(\mathbf{分母})'} = \frac{\frac{\cos x}{\sin x}}{-\frac{1}{x^2}} = -x\cos x \cdot \frac{x}{\sin x}$$

ですが、

$$\lim_{x \to +0} \frac{x}{\sin x} = 1$$

ですから、

$$\frac{(\mathbf{分子})'}{(\mathbf{分母})'} \to 0$$

が分かり、ド・ロピタルの規則により、

$$\lim_{x \to +0} x \log(\sin x) = 0$$

です。

6 関数 $f(x)=(x^2-3)\mathrm{e}^{-x}$ の増減と凹凸を調べ、グラフの概形を描くことを念頭

に置いて増減表を書いてください。ただしグラフ自体は描く必要はありません。

配点:10点 シラバス到達目標:イ

この関数は実数全体で定義され、微分計算をすると 【解答例】

$$f'(x) = 2xe^{-x} - (x^2 - 3)e^{-x} = -(x^2 - 2x - 3)e^{-x} = -(x - 3)(x + 1)e^{-x}$$

$$f''(x) = -(2x - 2)e^{-x} + (x^2 - 2x - 3)e^{-x} = (x^2 - 4x - 1)e^{x} = \{(x - 2)^2 - 5\}e^{-x}$$

です。

f'(x) = 0 となるのは x = 3, -1、 f''(x) = 0 となるのは $x = 2 \pm \sqrt{5}$ です。 これらの 点での関数値は

$$f(3) = 6e^{-3}$$
, $f(2 - \sqrt{5}) = \frac{6 - 4\sqrt{5}}{e^{2 - \sqrt{5}}}$, $f(2 + \sqrt{5}) = \frac{6 + 4\sqrt{5}}{e^{2 + \sqrt{5}}}$,

$$\underbrace{f'(2-\sqrt{5})>0,\quad f'(2+\sqrt{5})<0,\quad f''(3)<0,\quad f''(-1)>0}_{\text{これら(特に2階微分)は符号だけで OK}}$$

です。

また、極限値は

$$f(x) = (x^2 - 3)e^{-x} \to +\infty \quad (x \to -\infty)$$
$$f(x) = \frac{x^2 - 3}{2} \to 0 \quad (x \to +\infty)$$

ですから増減表は以下の通りです:

x	$-\infty$	• • •	-1	• • •	$2-\sqrt{5}$		3	• • •	$2 + \sqrt{5}$	• • •	$+\infty$
f'(x)	/	_	0		+		0		_		/
f''(x)	/		+		0		_		0	+	/
f(x)	$+\infty$	•	-2e	<u>_</u>	$\frac{6-4\sqrt{5}}{e^{2-\sqrt{5}}}$	_	$6e^{-3}$	•	$\frac{6+4\sqrt{5}}{e^{2+\sqrt{5}}}$	•	0

変曲点は2点 $\left(2\pm\sqrt{5}, rac{6\pm4\sqrt{5}}{e^2\pm\sqrt{5}}
ight)$ (複号同順)です。

7 次の増減表等を元に、それぞれの関数のグラフの概形を描いてください。

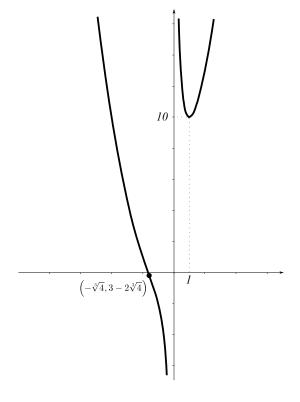
(1)

x	$-\infty$		$-\sqrt[3]{4}$		0			1		$+\infty$
f'(x)	/		_		/	/	_	0	+	/
f''(x)	/	+	+ 0 -			/	+			/
f(x)	$+\infty$	\	$3-2\sqrt[3]{4}$	7	$-\infty$	$+\infty$	_	10		$+\infty$

ただし、 $\sqrt[3]{4} \approx 1.6$ です。

配点:(1)10 点 シラバス到達目標:イ

【解答例】 (1)



(2)

x	$-\infty$		-5		-4		0		$+\infty$
g'(x)	/	_	0	+	0	_	0	+	/
g(x)	$+\infty$	>	$5\sqrt{5}$	7	$8\sqrt{2}$	>	0	7	$+\infty$

ただし、直線 $y=\pm(x-3)$ は $x\to\pm\infty$ での漸近線(復号同順)です。

配点:(2)10 点 シラバス到達目標:イ

【解答例】 (2)

